

# 荒川太郎右衛門地区自然再生事業

---

## 第7回協議会の結果について

### < 目 次 >

1. 第7回協議会での確認事項等	-----	1
2. 第7回協議会後に寄せられた質問・意見票への回答	-----	2

平成16年10月31日

荒川上流河川事務所

1. 第7回協議会での確認事項等

大項目	小項目	確認事項及び課題の概要	今後の対応
(1) 当面の整備メニューの設計の考え方について	1) 雨水集水路	<p>牧草地への降雨量と集水量との関係を把握する必要がある。                      集水路の形状及びU字溝使用の是非についても検討する必要がある。                      集水路に遮水シートを使うことは好ましくない。                      暗渠構造とした方が良いと思われる。                      試験施工的に位置付け、当面素掘り水路で様子を見てはどうか。                      集水した水はモトクロス場跡地に入れ、湖のような環境を復元してほしい。</p>	<p>ご提案を踏まえて再検討します。 資料-5 参照</p>
	2) その他水確保の施策について	<p>雨水によって水を集める方法は難しいので、市野川の水を利用することを検討した方が良い。                       肥料等も問題もあるが、水田の水を利用できないか。</p>	<p>市野川の水は水質上問題があるため、浄化施設等と合わせて検討する必要があります。他の水確保方策が十分な効果が得られないと判断した場合は、実施時期（期以後）の見直しを検討します。                      現況の水路系統を調査しました。 資料-6 参照</p>
	3) ワンド、エコトーン、試験掘削	<p>試験掘削では棚状の地形とした方が冠水頻度との関係を把握しやすい。エキサイゼリの試験地も同様である。                      エコトーン実験は水面から30cmの高さを基準に10～15cmきざみで棚田状の地形を作ると良い。                      ワンドは流水域に接した止水域を指す。当面は流水環境になる予定はないので、湿地帯という表現にした方が良い。</p>	<p>スロープ形状を棚田形状に変更しました。棚田の段差は、施工性を考慮し、可能な限り細かく設定します。 資料-5 参照                       ご提案の通り、ワンドは「湿地帯」と表記します。</p>
(2) モニタリングについて	1) 専門委員会の構成について	<p>委員会において、専門的知識を有する人が結果を精査する必要がある。                      地域に密着した専門性の観点で選ぶ                      委員の選出にあたっては、400字程度の作文を書いてはどうか。</p>	<p>アンケート調査を実施した上で、構成等については提案させていただきます。                      他機関との連携、外部の有識者の意見を聞く方法、モニタリングの具体的な内容等については、専門委員会の中で検討していきます。</p>
	2) その他の意見	<p>地元小中学校との連携できることが望ましい。                      専門委員会は専門家により評価を行う場とする。                      昔のことを良く知っている人に聞き、文字に残っていない記憶、知恵を引き出すことが必要                      人の利用による影響等も考慮してモニタリングを行う必要がある。</p>	
	3) 指標種について	<p>今回提案された指標種は太郎右衛門地区の指標種として相応しくないものも含まれている。                      ヨシ原を再生するにあたっての指標となる生物種はヨシゴイではないかと思いますが、抜けています。また、クサガメでなくてイシガメなのではないか。基準を明確にし、精査する必要がある。                      富栄養化の問題の指標には、カナムグラを考慮する必要がある。                      近隣の三ツ又沼や江川の現状が加味されていないので、もう一度検討する必要がある。</p>	<p>モニタリング専門委員会で精査します。</p>

2. 第7回協議会後に寄せられた質問・意見票への回答

委員からの意見等	事務局からの回答
<p>【木ノ内勝平委員】                      エキサイゼリの保全、再生以外に湿地性の希少種の再生を行っていったらいいのではないかと。小規模の攪乱でためしてみたら。(ここ辺りには、タコノアシ、カワラニンジンなどは可能性があると思うが)                      「人の影響」、「人の介入」のモニタリングに関しては、この会で具体的に指摘された方も多くいます。太郎右衛門地区をどうしていくのか、議論し、方向を見出したい。</p>	<p>湿地性の希少種の再生を期待して、湿地帯やエコトーンの創出を提案しています。</p> <p>モニタリングの対象項目等については、専門委員会の中で検討しますので、ご提案いただいた事項は専門委員会へ提案します。</p>
<p>【北村文子委員】                      雨水集水路に様々な意見が出ましたが同感です。加えて遮水シートを使用するのも問題だと思えます。シートの材質、耐久性、溶出物などを考えてみたならば使うべきではないかと思えます。工事費も無駄になります。</p>	<p>雨水集水路の有効性、構造等については、再度検討を行います。</p>
<p>【鈴木勝行委員】                      雨水取水の水路は、素掘りで様子を見るという方向を是非進めてください。                      川の法面は石張りにできるだけしない方向で考えられないでしょうか。モニタリングは二つのレベルで委員を選出したほうがいいと思います。さらに、細かい自然のモニタリングを、全域を対象としたもう少し全般的なモニタリングが必要であろうと思えます。</p>	<p>雨水集水路の有効性、構造、試験施工の実施方針等については再度検討を行います。</p> <p>雨水集水路は素掘り構造とします。また、洪水時の導水路の本川取り付け部は侵食や法崩れを防止するために空石張としました。</p> <p>モニタリングは前回提案しましたとおり、日常的な地域からの情報をもとに状態を把握する“問診型モニタリング”と施工前及び試験施工後の追跡調査を通じて効果分析を行う“精密検査型モニタリング”を設定しております。</p> <p>なお、モニタリング専門委員会委員は、アンケートにより選出した公募委員と事務局から推薦した学識委員で構成するよう提案しております。</p> <p>今回提案しましたモニタリングのしくみは、ご意見の通り、全域を対象としたものも含まれております。</p> <p>モニタリング計画については、資料-7 参照を参照してください。</p>
<p>【出村光雄委員】                      本川の導水路について                      道路横断部のボックスカルバートを橋梁に変更したい。理由は、ボックスの長さ 12m は半分位になる。河床も土になる。導水路断面(幅) 面積がボックス部で急に小さくなり不自然である。P7                      本川よりの流入部では掘削をし、池とすることにより、池の水が荒川へ浸透してしまうので、そのようなことがない様な構造とすべき。(止水工を設ける) P7 の縦断図 より。</p>	<p>当面は現況(ヒューム管構造)を活かした上でモニタリングを行います。将来、水路の拡幅が必要な場合に構造を検討します。</p> <p>地下水位をモニタリングし、構造上の配慮事項を検討します。</p>
<p>【木村篤史氏(後藤委員代理)】                      モニタリングの「評価方法」の記述に評価指標、評価する対象は記述してありますが、評価方法に関して一切記述がありません。評価方法の決定が専門委員の選出に大きく関わってくると思われますので、記載して頂ければと思います。</p> <p>モニタリングで集めたデータをどのような形式で保存し、収集した結果をどのように表現していくかの決定は、モニタリングの成果を有効利用していく上で、大変重要なことと考えます。ここは提案なのですが、GIS を利用してみたいかがでしょうか? GIS はあらゆる地物および情報をデジタルマップに表現でき、計画の意思決定に大きく貢献できるシステムです。国土交通省河川局においても GIS への取り組みを行っておられる                      ( <a href="http://www.mlit.go.jp/river/gis/index.html">http://www.mlit.go.jp/river/gis/index.html</a> ) ので GIS はすでにご存知のことと思われそうですが、自然再生計画にも GIS は大いに活用可能と思われしますのでご協議の程、よろしくお願い申し上げます。</p>	<p>評価方法も含めて、詳細はモニタリング専門委員会で検討します。</p> <p>ご指摘の通り、GIS データ化は有効な方法であると認識しております。今後、調査検討を進めていく上で活用します。</p>